



長野県民主医療機関連合会

学ぶあなたの力になりたい

～奨学生活動紹介～

長野県民主医療機関連合会

長野県松本市元町2-9-11 民医連会館2F

TEL:0263(36)1390 FAX:0263(33)1229

<http://www.mintyo.or.jp/min-iren/>



長野県民医連

私たち長野県民医連のルーツ、 それは「いのちの平等」

私たちは“いつでも、どこでも、誰もが安心してかかれる医療と福祉”をかかげ、地域に住む人々に支えられて発展してきました。

今、地域医療は大変な困難に直面しています。格差と貧困、医療崩壊といった現実に向かい、人権の守り手となる若い医師が切実に求められています。

長野県民医連は、これまで住民と共にあるべき地域医療を懸命に追求し、実践してきました。毎年、奨学生を中心に未来を担う研修医を受け入れ、医師養成でも県下有数の実績を作り出しています。

その根底にある想い。

それは、医師を志す学生一人ひとりを将来の「日本医療の宝」と考えているということ。

地域を大切に思う優しい心を持ち、地域で活躍できる医師になってもらうために、私たち長野県民医連は、学ぶあなたの力になります。

私たちの医療活動のフィールドには、大学にはない学びと人生を揺るがす素敵な出会いが待っています。

安心の地域医療を未来へつないでいくために…。期待をこめて、心からのエールをおくります。

「奨学生」という存在

脈々と受け継がれ、各地に広がる長野県民医連の医師養成。その根底にあるのは、単にお金の貸し借りに留まらない独自の奨学金制度。

将来、長野県民医連で医療を担う志しのある医学生に対し、大学では得ることのない学びの機会を提供することにより人間性と社会性を養い、「医師力」を研鑽します。

応援するのは、本気で一流を目指そうとする意志。

「奨学生」だからこそ見つかる自分自身の無限の可能性に未来を託してみませんか。

奨学金支給額

対象：医学部医学科1年生から6年生まで

1～3年生：月額5万円

4～6年生：月額6万円

(所得制限なし、返済免除規定あり)
※別途、特別貸付あり

奨学金制度申請手続き

必要書類の提出

①申請書 ②決意書 ③履歴書

長野県民医連加盟病院での実習

医師面談

理事会審査

支給

長野県民医連医学生奨学金貸付制度

一条 (奨学金貸付制度の目的)
長野県民医連の医療施設に働く医師を養成し、後継者を育成するためにこの奨学金貸付制度を定める。

二条 (奨学生の心得)
奨学生は、民医連綱領に掲げる医療と理念を実践的に学ぶことに努める。また、将来長野県における民医連運動を積極的に進める医師となるために、医学医療の知識と技術の修得と向上に全力をつくすとともに学生に民医連を知らせる事に努力する。民医連の主催する各種の催しや必要な会議、懇談会には積極的に参加する。

三条 (奨学生の資格条件)
本奨学生はこの規程を承認し、所定の申込書によって申請し、加盟院所の推薦により面接して決定する。

四条 (支給基準)
医学部3年までは月額5万円、4年以上は月額6万円を限度とする。さらに必要なときは特別貸付金として長野県民医連医学生特別貸付金細則に基づき実施する。

五条 (支給期日)
月額を基準に、当月分を15日までに支給する。

六条 (奨学金の返済)
奨学貸付金は次の場合返済する。
① 奨学生が長野県民医連に勤務しなかった場合、或いは中途退職の事由が生じた場合、速やかに必要な関係者で協議し奨学金を返済する。
② 奨学金の返済は、事由が生じてから一ヶ月以内に行わなければならない。一ヶ月を越えて分割して返済する場合は契約を結び長野県民医連理事会で承認した後、年利1%の利息を加算した額を返済しなければならない。
③ 当該医学生が返済できない場合は、保証人が代わって返済を行う。

七条 (住所届出と状況の報告について)
奨学生は常に住所と連絡先を明確にする必要があり、変更ある場合には速やかに長野県民医連事務局まで連絡する。また月一度は何等かの方法で状況を報告する。

八条 (手続き)
1. 申請書
2. 小論文
3. 履歴書 (本人自筆)
4. その他長野県民医連が必要とするもの

九条 (その他)
その他長野県民医連と当該医学生との間で不都合など生じた場合は、速やかに話し合いを行い、場合によっては理事会で検討する。

長野県民医連医学生奨学金返済免除細則

奨学生が長野県民医連の院所に以下の通り勤務した場合は、奨学金の返済は免除する。

- ① 卒後2年間は奨学金の返済は免除されない。但し、卒後3年目以降に継続して長野県民医連の院所に勤務した場合は勤務期間に応じて奨学金の返済を免除する。
- ② 奨学金貸付規程第六条により返済が生じた場合、奨学金として貸付された総額から奨学金の返済免除月額の実施合計額を減じた金額とする。その場合①により卒後3年目以降に引き続き長野県民医連の院所に勤務した場合は、卒後2年間を遡って返済免除期間として計算する。
- ③ 特別な理由により返済困難な場合、理事会の承認を経て奨学金の一部または全部を返済免除する。
- ④ その他長野県民医連と当該医学生との間で不都合など生じた場合は、話し合いを行い、場合によっては理事会で検討する。



学習テーマ例

一次救命処置講座
子どもの貧困
地域医療と医師不足
研修医に聞いてみよう
終末期医療 etc.

● 奨学生会議 / 医系学生ミーティング

毎月、「奨学生会議」と「医系学生ミーティング」を開催。学びたいテーマ、要求に沿った企画が大学にはない多彩な学びの場になっています。夕飯も用意し、終わった後のんびりおしゃべりしながら過ごすのも楽しみの一つです。



● ランチタイムミーティング / イベント etc.

大学近くの民医連会館では、夏はBBQや流しそうめん、冬は忘年会など季節ごとにイベントを開催。月2回のランチタイムミーティングと合わせて、学年を越えて交流できる場になっています。



● 民医連の医療と研修を考える医学生のつどい

毎年行われている「医学生のつどい」は、自分たちの学びたい要求に沿って企画を作り、数百人の医学生が全国から一堂に集結する「医学生の医学生による医学生のため」の企画。講演会に分科会、フィールドワークに交流会といった学びあり、交流ありの一大イベントです。

ここには、 大学では学べないことがある 「学びたい」その想いに応えたい

私たちは、地域のフィールドと多くのつながりを活かして、学生の学びたい気持ちに応える学習と交流の機会を提供しています。学びを支えるのは、信州の地域医療と住民、先輩医師たち。私たちの医療活動の舞台は、学生の学びのフィールドでもあります。

● へき地医療フィールドワーク

県内にある“へき地”と呼ばれる地域を訪れ、医療の実情を学びます。看護学生などの医系学生も多数参加し、様々な人や自然に触れ合えるのも魅力です。



● 長野医系学生のつどい

毎年行われている1泊2日の学習企画。学生が実行委員会を立ち上げ、医学生、看護学生が中心となって盛り上げています。信州のフィールドを使って、社会や医療について現場の実際に触れ、学びを深めます。



● 実習

入学直後から受け入れている本格的な実習。往診体験、手術見学、当直体験などの他に、学年やスケジュールに合わせた自分だけの実習も可能です。



大学生活の不安を解決、 3つのサポート

楽しい半面、学業と生活で大変なこともある学生生活。そんな時に、3つの側面から学生の学びと成長を応援するサポート体制があります。キーワードは“居場所”。学習環境を陰ながら支え、学生の豊かな学びをバックアップしています。

食

企画を盛り上げるのは、学生の健康を考えた手作りの食事。学生のリクエストに応えた食事が学習や交流に華を添えています。テスト期間中も担当者が夜食を作り、試験勉強をアットホームに応援。ランチタイムミーティングと合わせて、大学生活に活力を生んでいます。

学

医学生の学習と成長の援助を目的に設けている長野県民医連の奨学金制度。地域に根差した民医連医療を担う医師として、医学の知識だけでなく、日本の医療や社会問題まで幅広い視野を持ってもらうために、学費や生活費の援助を行っています。

居

民医連会館にある「学生ルーム」は、学生なら誰でも出入り自由。先輩たちが置いていった教科書や参考書、ネットの使えるパソコンの設備もあって学習環境としても最適です。気軽に話せる職員もいるから家庭的な雰囲気の中で不安は何でも相談できます。



医師を志す皆さまへ、 先輩達からのメッセージ



長野中央病院

小島 英吾 医師 (信州大学1996年卒業)

医療の未来を切り開ける医師へ

入学した頃は、早く医師になりたい、患者さんのために働きたい、医療の歪を正したいなどと自分なりに深く考えていたつもりでした。大学が始まり暫くしても友達とはサークルやアルバイトの話ばかりで、少し物足りなさを感じていたときに出会ったのが、長野県民医連の奨学生の先輩でした。その先輩は、医療を良くしたいという私の想いを受け止めてくれただけではなく、それをはるかに越えて医療や社会の問題点を見抜いており、感動と尊敬を一瞬にして抱いたことを思い出します。

民医連は、弱者の立場に寄り添いながら医療を行うと同時に、その代弁者となって社会に働きかけます。学生時代に十分勉強して、医療の明るい未来を切り開ける医師になってください。



長野中央病院

小林 奈津子 医師 (宮崎大学2010年卒業)

世の中を知り、幅広い視点を持つ助けに

私が奨学生になったのは、生まれ育った飯田地域の役に立ちたいという強い思いからでした。大学は県外でしたが全国にも民医連の奨学生の仲間がいて、同級生や部活以外に頼れる人がいるのは心強かったです。

普段の大学生活は勉強や部活で盛りだくさんで、社会に触れる機会は少なく、医師を志しているのに「実は世の中のことを良く知らない」と感じる瞬間がよくあります。この奨学生会議を通して、社会問題や医療福祉制度について仲間と一緒に議論できたことは今思い返しても有意義でした。医師として働き始めた今も患者さんの背景にまで寄り添えるような幅広い視点を持つための一助になっています。

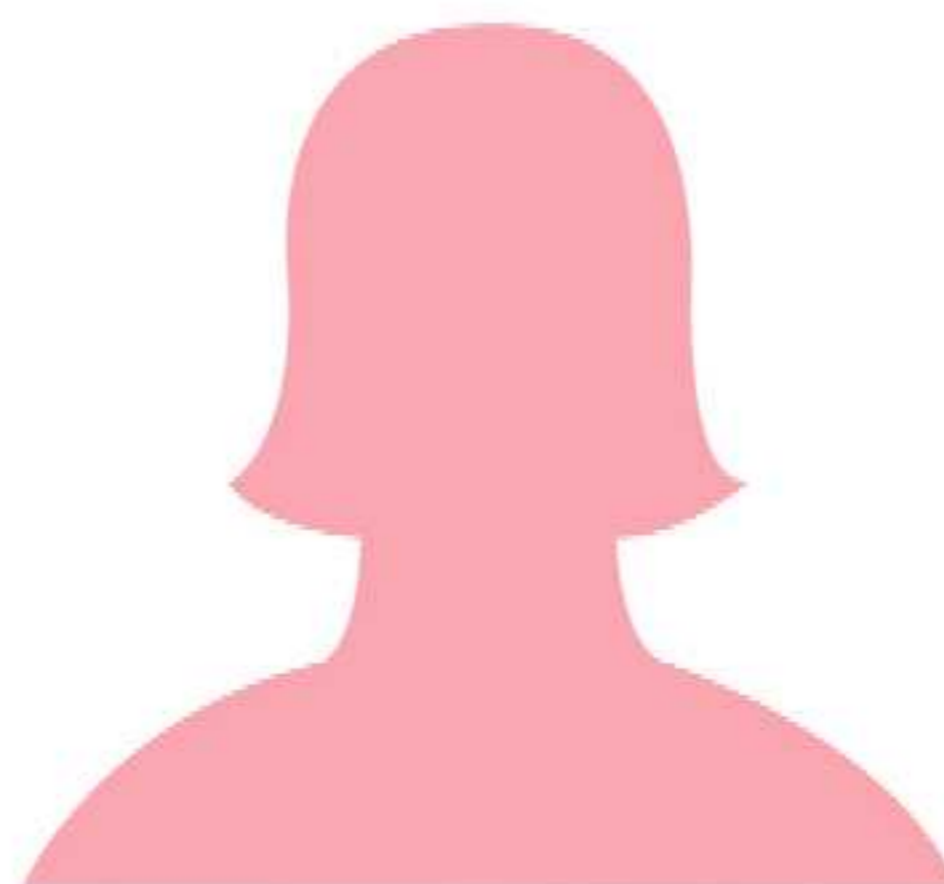
S 大学 医学部医学科

尊敬できる先輩から多くのことを学びたい

大学への進学が決まった春、入学前実習で往診に同行させていただきました。患者さんに寄り添い、温かく接する医師の姿を見て「私もこのような医療をしたい」と思い奨学生になることを決めました。

奨学生活動の魅力は、何と言っても大学にはない学びを通してより良い医療について考える機会がたくさん得られることです。「子どもの貧困」について学んだ際は、身の回りには見ようとしなければ見えない問題があり、その問題を見つけ出すことが患者さんにとってのより良い医療へつながっていくということを知りました。

現場に触れながら、尊敬できる先輩たちと一緒に学習できる奨学生活動は、毎日が新しい発見の連続でとてもワクワクします。



奨学生から「医師」へ

信州の地域医療で磨く 確かな医師力

奨学生だからこそ得られる
数々の学びや出会い。

その経験の一つひとつが卒後の研修や
医師人生に大きな影響を及ぼすはずです。

30年以上の実績を持つ
長野県民医連の研修プログラムが育むのは、
地域医療に役立つ高度な技術と優しい心。

安心して身を置ける卒後の研修環境が
ここにはあります。



長野県民医連の歴史ある医師養成を通じて特筆すべきことのひとつは、医師・看護師をはじめとするスタッフが若い医療者を育てようとする情熱を持っているということ。

現代の病院医療は、患者を中心に各職種がそれぞれの専門性を発揮し、かつ民主的な協力体制ですめられなければなりません。長野県民医連の研修では、医師が民主的なリーダーとして成長することを重視しています。



大学病院をはじめとする大規模病院などでは、研修医が多すぎて出来ない手技も長野県民医連ではそれが可能。料を超えて連携する医師たちが協でサポートする垣根のない研修がそれを実現します。医師としての専門性はもちろんのこと、地域で活躍できる総合力を身に付けられるのが長野県民医連です。

君たちの力を次代の医療に

今から半世紀以上前、
「働く人々の病院が欲しい」という
住民運動によって生まれた民医連。

経済的理由によって医療に差別が持ち込まれることのないように
設立以来、差額ベッド代は一切とらず、
「無料低額診療」など“いのちの平等”の理念に立った
医療活動を展開してきました。

貧困と格差が広がり、
平和が脅かされている今日、
命に向き合う医療機関が果たすべき責任は重大です。

長野県民医連の原点が更に鮮明になる中で
高度な医療にも同時に応えられる病院として、
私たちは常に一流を追求しています。

地域には、君たちを待っている人がいます。
次代の医療を守るため君たちの力が必要です。

信州に広がる 長野県民医連の加盟医療機関



長野中央病院 322床 基幹型臨床研修指定病院

県下有数の医師養成の実績がある長野県民医連のセンター病院。市の中心部にある急性期病院で、県下トップクラスの患者数を持つ循環器・糖尿病などの内科を中心に発展してきました。

〒380-0814
長野市西鶴賀町1570
TEL: 026-234-3211
<http://www.nagano-chuo-hospital.jp/>



上田生協診療所 19床

19床の入院ベッドを持つ有床診療所として、胃カメラ・大腸カメラ・エコー・CTなど充実した医療設備を配しています。訪問看護ステーション等と連携を取りながら、在宅医療にも積極的に取り組んでいます。

〒386-0042
上田市上堀尻393-1
TEL: 0268-28-1085
<http://www.toshin-iryuu.com/>



松本協立病院 199床 基幹型臨床研修指定病院

松本駅に隣接し、循環器・消化器・呼吸器を中心とする救急一般病院。総合診療を軸に各科がきめ細やかに連携し、急性期から慢性期まで、地域住民の要求に幅広く応える医療を展開しています。

〒390-8505
松本市中上9-26
TEL: 0263-35-5300
<http://www.chushin-miniren.gr.jp/>



諏訪共立病院 99床

町唯一の一般病院として小児から高齢者、救急から慢性疾患まで、在宅支援診療所や福祉施設と連携しながら幅広く診療しています。

〒393-0077
諏訪郡下諏訪町矢木町214
TEL: 0266-28-2012
<http://www.skhp.or.jp/>



上伊那生協病院 164床

2006年開設の町唯一の病院で、プライマリケアを中心とした地域医療の一翼を担っています。医療過疎と呼ばれる地域で回復期リハビリテーション病棟を持ち、外来・入院・在宅に至る総合的なリハビリテーションが可能です。

〒399-4601
上伊那郡箕輪町大字中箕輪11324
TEL: 0265-79-1424
<http://www.kamilina-mcoop.com/ina/>



健和会病院 199床

急性期から回復期、そして退院後の在宅生活に至るまで医療を切れ目なく提供している病院。子どもからシニアまで安心してかかれる病院として地域医療を支え、貢献しています。

〒395-8522
飯田市鼎中平1936
TEL: 0265-23-3116
<http://www.kenwakai.or.jp/>

長野県内 奨学金制度の比較

	長野県民医連	長野県医学生 修学資金	日本学生支援機構		銀行ローン(例)	
			第一種奨学金	第二種奨学金		
対象者	将来、医師として長野県民医連の加盟医療機関で働く意欲のある医学生	将来、医師として長野県内の公立病院、公的病院に勤務する意欲のある医学生	特に優れた学生で経済的理由により著しく修学に困難がある者		第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者	—
月額	1~3年 5万円 4~6年 6万円 ※別途、特別貸付あり。	20万円	国立 (自宅/自宅外) 45,000円/ 51,000円	国立 (自宅/自宅外) 3万、5万、8万、 10万、12万円から選択	30,000円	一回(月額)、 10~15万円以内。 総額500万円まで。
			私立 (自宅/自宅外) 54,000円/ 64,000円	私立 (自宅/自宅外) 3万、5万、8万、 10万、12万円から選択 ※12万円を選択した場合に限り4万円の増額可		
返済免除規定	民医連に加盟している病院での研修を貸与期間に相当する期間従事すること。	知事が指定する医療機関に貸与期間の1.5倍の期間従事すること。	—	—	—	—
返済条項	1ヶ月を越えて分割して返済する場合は契約を結び長野県民医連理事会で承認した後、年利1%の利息を加算した額を返済しなければならない。	貸与を受けた日から日数に応じて年10%の割合で計算した利息を加えた額を一括返還。	卒業後6ヶ月経過後から原則月賦で返還。利息なし。	卒業後6ヶ月経過後から原則月賦で返還。 ※申込時に「利率固定方式」と「利率変動方式」から選択(年利率は3%を上限に変動)	在学中は利息分(変動)のみ。卒業後、元本の返済開始。	—



長野県民医連 奨学金返済シミュレーション

※6年間(72ヶ月)奨学金の貸与を受けた場合の返済額
総額400万円(3,960,000円に年利1%の利息を加算) 注) 利息は変動あり

	卒後	初期研修		後期研修				
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
ケースⅠ	卒後6年間(72ヶ月)長野県民医連の院所で勤務した場合							→ 全額返済免除
ケースⅡ	卒後2年間(24ヶ月)で長野県民医連の院所を退職した場合			返済スタート	→			→ 全額返済
ケースⅢ	卒後2年間(24ヶ月)勤務し、継続して更に1年半間(42ヶ月間勤務)勤務した場合				返済スタート	→		→ 2年半間分(30ヶ月間)返済